

再生可能エネルギーについて

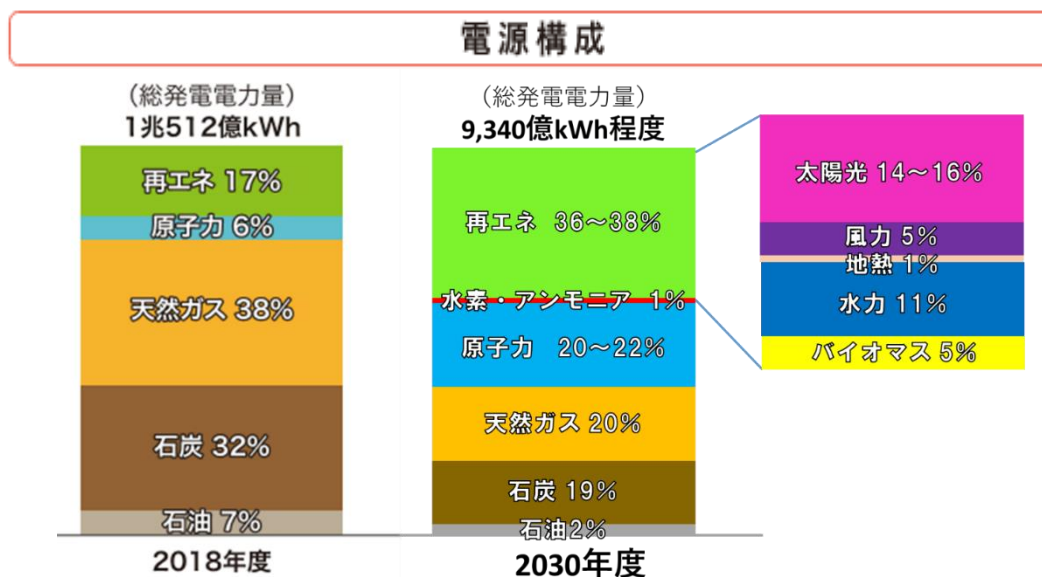
1. 再生可能エネルギーを取り巻く状況

(1) 再生可能エネルギーとは

再生可能エネルギー(太陽光・風力・地熱・水力・バイオマス)は、温室効果ガスを排出しない脱炭素エネルギー源であるとともに、国内で生産可能なことから有望かつ多様で、重要な国産エネルギー源である。

(2) 地球温暖化対策計画の策定

国は気候変動問題への対応として、令和元年10月に「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言するとともに、令和3年10月22日に閣議決定された「地球温暖化対策計画」において、2030年度の新たな温室効果ガス排出削減目標として、2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けるとの新たな方針を示した。



(出典:経済産業省 資源エネルギー庁 日本のエネルギー2020)(出典:エネルギー基本計画)

(3) 太陽光発電について

再生可能エネルギーの主力として導入が拡大し、自家消費や地産地消を行うレジリエンスの観点でも活用が期待されるが、日中しか発電できないことや発電量が天候に左右されるなどの特性を持つ。しかしながら、火力発電等の発電所に比べて比較的容易かつ短時間で設置が可能であり、蓄電池等との組み合わせにより長期安定的な電源として成熟していくことが期待される。

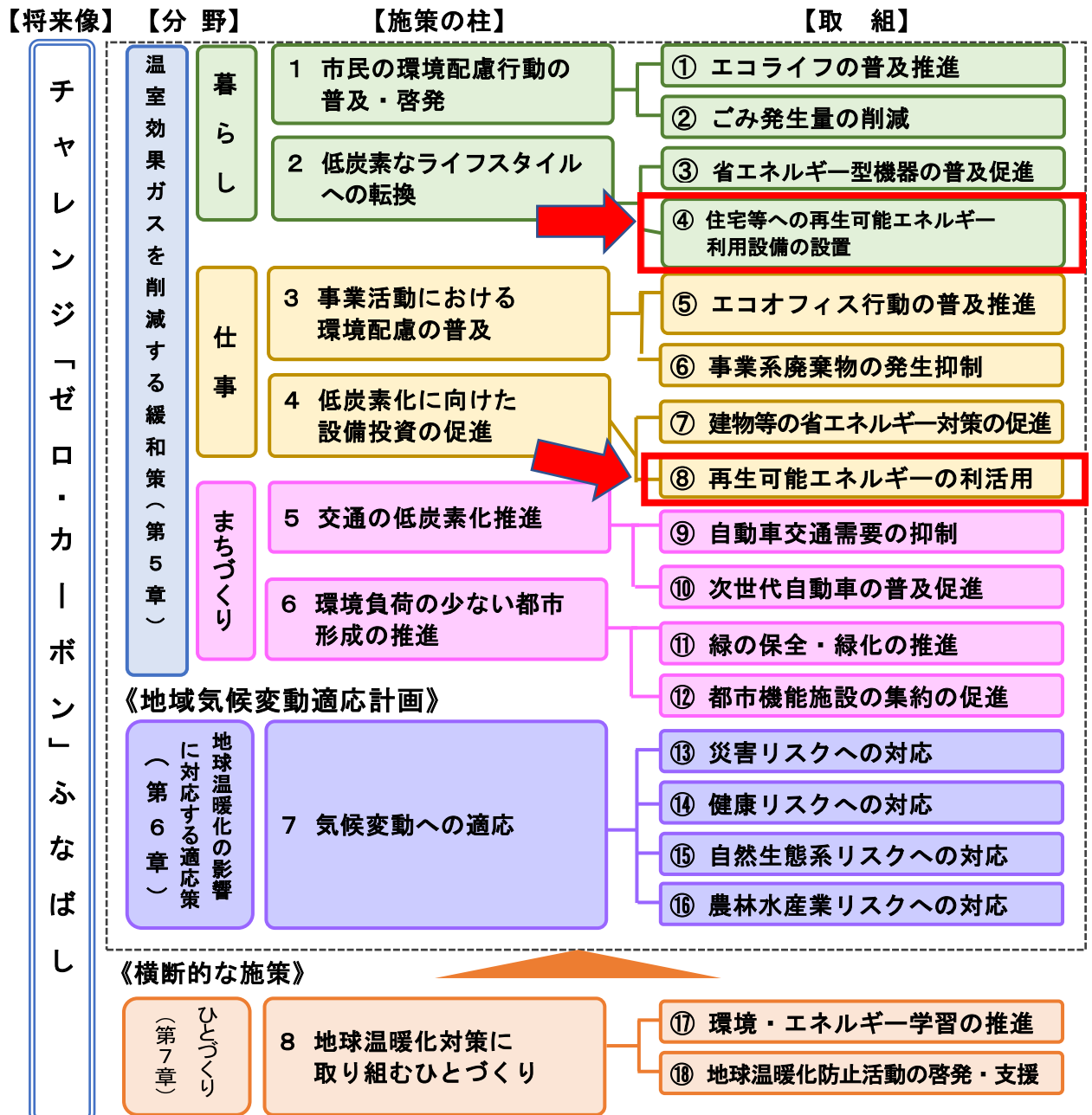
また、国は、2050年において住宅・建築物には太陽光発電設備が設置されていることが一般的となることを目指し、2030年において新築戸建住宅の6割に太陽光発電設備が設置されることを目指すとしている。

* 県内自治体の住宅用太陽光発電導入総容量(容量 10kW 未満対象)
 (人口が 20 万人以上の自治体で一世代当たりの容量が多い順)

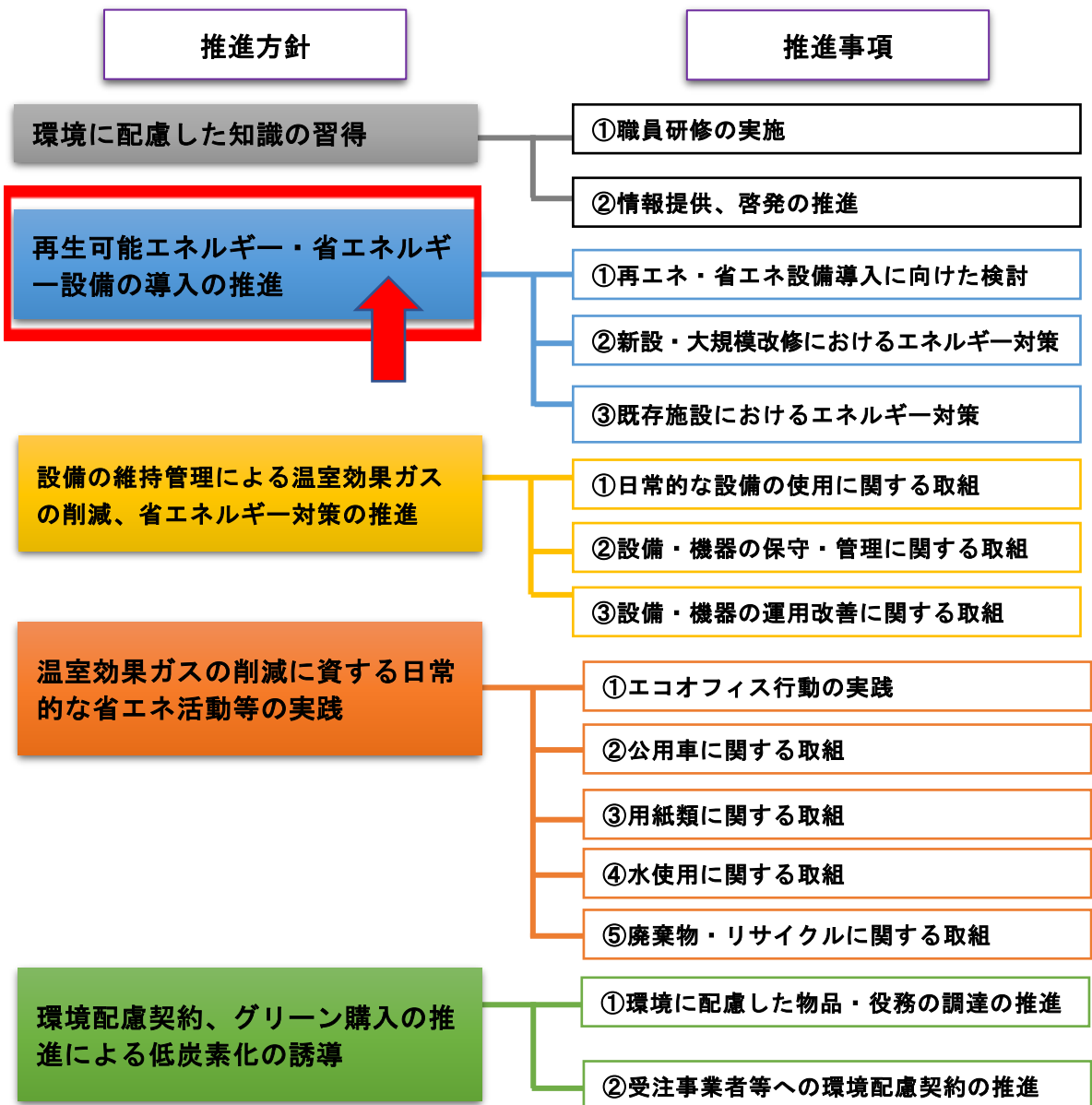
自治体名	導入総容量【kW】	一世代当たり 導入容量【kW/世帯】
市原市	30,563	0.257
流山市	20,929	0.247
八千代市	17,067	0.198
柏市	34,523	0.181
松戸市	28,840	0.124
船橋市	36,260	0.124
千葉市	44,384	0.098
市川市	19,190	0.078

※導入総容量は資源エネルギー庁より(2021年6月時点)

2. 地球温暖化対策実行計画(施策体系)



3. 第5次ふなばしエコオフィスプラン(推進体系)



4. 本市の取り組み

(1) 太陽光発電システム・省エネルギー設備設置費補助事業

温室効果ガスの削減をするため、平成 21 年度より住宅における太陽光発電システム、省エネ設備の設置費用の一部を補助している。

【令和3年度補助対象設備および補助単価】	
太陽光発電システム	20,000円/kw (上限：90,000円)
省エネルギー設備	
エネファーム	50,000円
定置用リチウムイオン蓄電システム	100,000円
太陽熱利用システム	50,000円

【補助金額等の推移】						
		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金額		千円	22,270	19,400	18,450	20,900
交付決定件数	太陽光発電システム	件	61	68	52	65
	省エネ設備					
	エネファーム		71	47	44	34
	蓄電システム		116	118	121	144
	太陽熱		0	0	0	0
	合計		187	165	165	178
総合計			248	233	217	243
交付決定額	太陽光発電システム	千円	4,908	5,250	4,228	4,800
	省エネ設備					
	エネファーム		5,680	2,350	2,200	1,700
	蓄電システム		11,600	11,800	12,022	14,400
	太陽熱		0	0	0	0
	合計		17,280	14,150	14,222	16,100
総合計			22,188	19,400	18,450	20,900

(2) 本市における今後の取り組み

- ・廃棄物発電を活用した自己託送実証事業
- ・避難施設等への再生可能エネルギー設備導入等事業

5. 他自治体等での取り組み

(1) 「みんなでいっしょに自然の電気」キャンペーン(「みい電」)

再生可能エネルギー電力の購入希望者を募り、一定量の需要をまとめることで価格低減を実現し、再エネ電力の購入を促す、国内初のモデル事業。

太陽光や風力等の自然の電気を活用した電気を、お得に利用できるキャンペーンで多くの方が参加するほど、電気代が安くなる。



*令和4年1月13日現在の登録世帯数 5,333世帯

電力会社・価格が入札で決定：電気代削減額

→自然の電気30%以上メニュー：平均9%、年間平均11,000円

→自然の電気100%メニュー：平均8%、年間平均10,000円

【本市における、事業周知】

対市民⇒各種イベントでチラシ配布、広報12月15日号に掲載

対事業者⇒商工会議所の協力で会報誌「ハンドシェイクふなばし1月号」掲載

対市職員⇒職員用パソコンの掲示板に掲載し、契約の切り替えを呼びかけ

(2) 0円ソーラー(神奈川県)

事業者が初期費用を負担して、住宅に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を住宅所有者等に販売することで初期費用を回収するので、住宅所有者は初期費用0円で太陽光発電を設置できる。



「0円ソーラー」とは

事業者が初期費用を負担して、住宅に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を住宅所有者等に販売することで初期費用を回収するので、住宅所有者は初期費用0円で太陽光発電を設置できるものです。設置後、一定期間(概ね10年間)は、発電された電気のうち使用した分の電気料金の支払いが必要ですが、一定期間経過後は、設備が住宅所有者に無償譲渡されます。

(3) 太陽光発電・蓄電池の共同購入事業(神奈川県)

県と協定を締結した事業者が、広く県民の皆さんから太陽光発電及び蓄電池の購入希望者を募り、一括して発注することにより、スケールメリットを活かした価格低減を促し、太陽光発電等の更なる普及拡大を図ることを目的とした事業。

太陽光発電・蓄電池を共同購入で買うメリット

グループパワーで
ベストチョイスを

みんなでまとめて
買うからおトク

確かな実績の
施工事業者による
安心施工

登録・購入・施工まで
しっかり安心サポート

暮らしに節約と災害に安心を!

太陽光・蓄電池の
メリット

- 昼間発電した電気はリアルタイムで使用可能!
- 電気代を節約しながら、売電収入で購入費用を回収できます。
- 停電時は、自立運転機能に切り替えると停電用コンセントから1,500W相当までの電気製品が使えます。

- 昼間発電した電気を蓄電池に貯めて夜間も使用可能!
- 停電時は、簡単な切替で貯めた電気を使えます。

例)6.5kWh容量の蓄電池にフル充電されていた場合、約11時間連続して、テレビ、照明、冷蔵庫といった機器の使用や携帯電話の充電ができます。